

インドネシア

ボゴール農業大学拡充事業



本事業により新設された大学本部事務所

[借款概要]

| | |
|---------|---------------------|
| 承諾額/実行額 | 6,946百万円 / 6,128百万円 |
| 借款契約調印 | 1989年12月 |
| 借款契約条件 | 金利2.5%、返済30年（据置10年） |
| 貸付完了 | 1995年12月 |

[事業概要]

ボゴール農業大学水産・畜産学部施設の整備し、教員の海外留学や海外からの招聘を支援することにより、大学教育の拡充に寄与するもの。

[評価結果]

ボゴール農業大学において、水産学部と畜産学部は、国民の栄養改善、輸出促進等の観点から重要視されていた。本事業は新校舎（約9万m²）、本部事務所等を建設し、教育機器を供給すると同時に、1989年から96年にかけて、水産学部6人（修士4、博士2）、畜産学部6人（修士3、博士3）を海外留学に派遣し、さらに、共同研究や教育機器選定・訓練のための外国人教員の招聘プログラム（1991年～95年、延べ26人）を実施した。

水産／畜産学部の学生数は、1995年9月の新校舎竣工をはさんで年々増加し、1988年の各816人／752人から2000年には各3倍以上の2,895人／2,500人に達している。

また、教員の海外留学派遣や外国人教員の招聘によって、教育の質的な面でも貢献したものと評価されている。

なお、施設の維持管理については、大学の予算が減少傾向にあるため、民間との共同研究を通じた収入源の確保等、大学としての自助努力も求められるようになっている。